

第1回委員会における意見等への対応について

●平成27年度 データ評価の結果について

No.	意見の概要	対応
1	<p>図書館の評価指標は、図書館の役割について着目すれば、利用者数ではなく、蔵書の回転率といった、蔵書数や貸出冊数に関するデータで検討すべきではないか。</p>	<p>図書館の利用度評価について、ご意見を踏まえて「蔵書回転率(蔵書数当たり貸出冊数)」による参考評価を行いました。</p> <p>その結果、利用度について、「蔵書回転率」を用いた場合も、「面積当たり利用者数」の評価とほぼ同じ結果が得られていますが、他の指標との関係で、総合評価を実施する施設数は9施設から8施設と1施設減少する結果となりました。</p> <p>評価を実施するにあたっては、その施設のパフォーマンスを、より総合的に網羅する指標を使用すべきと考えており、図書館では、本を借りずに閲覧のみの利用者もいることから、貸出冊数だけによらず、より幅広い利用形態をカバーする指標を使用すべきと考えます。</p> <p>以上から、データ評価における利用度の指標は、当初案通り「面積当たり利用者数」を使用することとし、その他利用の詳細については、総合評価において分析を行ってまいります。</p>